

## 市民の誇り 頑張れ全国 大会出場選手



高校総体など全国大会に出場する選手35人の激励会が市役所で開かれました。関係者70人が出席し、尾藤市長は「体調管理には十分気をつけ、悔いの残らないように頑張ってください」と激励しました。出場

する選手を代表し、関商工高等学校柔道部2年の坂野皓基君は「関市の代表として、感謝の気持ちを忘れず全力を尽くして頑張ります」と決意の言葉を力強く述べました。皆さんの活躍を祈ります。

# あんな事、こんな事



## 観光客の増加を期待して

名古屋近郊の旅行会社やマスコミ各社を対象に市の観光資源や特産品、施設などの魅力を紹介する「観光バスツアー」が初めて開かれました。記事での掲載やツアー企画につなげることがねらいで、16社が参加。「古式日本刀鍛錬」や「小瀬鶏飼」を見学し、アユ料理などを満喫しました。参加者した旅行会社の担当者は「魅力的でお客様が喜びそうなものが多くあったのが収穫」と話していました。

## 職人の技と感性

秋田県で開かれた全国建具フェアで、木工所「指又」を経営する長屋鎮裕さん（洞戸通元寺）が国土交通大臣賞を受賞し、市役所で家族とともに喜びの報告をしました。受賞作品「曲遊」は、県産の間伐材を利用した高さ2.4メートルの立体ドアで、美しい曲線のデザインなど新しい様式を取り入れた非常に優れた作品です。伝統と日ごろの鍛錬に裏打ちされた技術の高さ、完成度の高さに驚かされました。





## 田んぼをコスモスのじゅうたんに

「秋にはきれいな花で満開になるように」と願い、小屋名に広がる休耕田を利用して、地元有志でつくる「西部地区を美しくする会」の協力で、金竜小学校3年生がコスモスの種をまきました。細い茎でも凛とした素敵な花を咲かすコスモスは、1本でも魅力あるものですが、一面に咲き誇ればますます見る者を魅了します。10月に見ごろを迎える中、コスモスマツリが開催される予定です。

## 笑顔で交通安全啓発

夏の交通安全県民運動実施期間(7月11日～20日)に合わせて、交通安全街頭指導所が関市文化会館に設置され、シートベルトの着用や飲酒運転の撲滅を呼びかけました。この日は、尾藤市長が先頭に立ち、せき親善大使の2人も浴衣姿で一緒に参加して啓発し、うちわやパンフレットを配布しました。夏本番を感じさせる中、涼しげにドライバーを和ませました。



## 地道な活動に高い評価

市内などで自然保護活動を進める市民団体「岐阜・美濃生態系研究会」(三輪芳明会長)が、水環境の健全化への貢献を表彰する「日本水大賞」の環境大臣賞を受賞し、市長に喜びの報告をしました。同会は、ウシモツゴの保護と野生復帰の活動を地道に展開。地域に根差した実践活動が高く評価されました。「今後もウシモツゴが普通にすみ、子どもが遊べる小川を作って、自然への関心を高めたい」と話しました。

## 思い出以上の貴重な財産

6月の「全国豊かな海づくり大会」で、式典や放流行事に出演し大会を盛り上げた児童らが市役所を訪れ、本番当日の感想を語りました。「両陛下の心に残るよう演奏した」「もっと海のことを知りたくなった」「これからも長良川を守りたい」との声が聞かれ、両陛下との会話や緊張で手が震えそうになったことなどを明かしました。出演者は全員で思い出をかみしめていました。



## こぼれ話



レコード盤が虹色にきらきら光るコンパクトディスク(CD)に代わってびっくりした時からもう20年以上。その後ビデオテープに代わりDVDが普及し、今どきだとブルーレイディスク(BD)というハイビジョン画質で何時間も記録できるものが登場しています。見た目はどれも同じ直径12センチの円盤なのに、技術の進歩でより多くの情報が詰め込めるようになるのは、なんと不思議です。

ハイビジョンと言えば、地上デジタル放送。完全移

行までいよいよ1年を切りました。来年の7月24日までは現在のアナログテレビ放送の電波が停止されますが、実は来年7月1日からは現在放送されているアナログ放送の番組ではなく、アナログ放送終了をお知らせする「お知らせ画面」を放送する可能性もあるとのこと。この場合、実質アナログテレビ放送は来年の6月末までしか視聴できないことになります。

来年の7月以降「テレビが映らない！」なんてことにならないように、今のうちから「地デジ化」の準備を進めましょう。